



地域の安全を守 るために

火災リスクの高い地域での緊急事態および公共安全のための計画停電への備え



2025年6月

山火事シーズンに備えましょう

今年1月に発生した強風と山火事は、南カリフォルニアが直面する深刻な異常気象リスクを象徴する出来事となりました。これらの災害は、山火事対策計画の重要性、そして、インフラの強靭性維持に活用するツールを継続的に強化する必要性を浮き彫りにしています。

私たちは日々改善を重ね、進化し続けています。SCEでは、電線の地中化、被覆導線、高速遮断ヒューズ、植生管理、新技術への多大な投資を行い、電力設備が原因となる火災のリスク軽減に努めています。こうした強化対策は、強風や嵐の際の電力供給の信頼性向上にもつながります。

皆様の安全が私たちの最優先事項です。こうした火災が発生しやすい気象条件が予想される場合、電力設備による火災のリスクを減らすために、一時的に電力を遮断することがあります。これを公共安全のための計画停電 (PSPS) と呼び、この措置により多くの命が守られています。

気候変動の影響により、今年は平年より降水量が下回り、そして強風が長時間続くことで、火災が拡大するリスクが高まっています。そのため、火災を防ぎ、地域の安全を守るために今後は PSPS の実施頻度が高まる可能性があります。

停電は、たとえ短時間でも大きな負担やストレス、混乱を招くものです。私たちの使命は、安全が確保されている限り、電力供給を維持することです。山火事のリスクを減らし、非常時への備えをサポートするために、私たちは以下の取り組みを進めています。

- ・被覆導線への交換や送電線の地中化の推進
- ・電力設備への接触を防ぐため、地域機関と協力して周辺の草木除去を強化
- ・PSPS 実施時に、より正確で迅速な情報を提供できるよう、ウェブサイトを改善
- ・予備バッテリーや発電機の導入を支援するためのリバート（補助金）を提供

このニュースレターでは、異常気象や自然災害、PSPS による停電に備えるための情報をご紹介しています。緊急時に備えて計画を立て、安全を確保し、常に最新の情報を把握しておきましょう。

ジル・C・アンダーソン
SCE エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼最高執行責任者 (COO)

公共安全のための計画停電 (PSPS) とは？

PSPS とは、電力会社が電力設備による山火事のリスクを減らすために、一時的に電力を停止する措置です。強風、乾燥した草木、湿度の低下などの危険な火災気象条件によって PSPS が実施されます。PSPS が 24 時間以上続くこともあります。

PSPS の詳細やよくある質問については、sce.com/psps をご覧ください。

🔔 アラート登録

アラートはどなたでも登録できます。

PSPS の可能性がある場合は、メール・テキスト・電話で通知をお送りします。停電中も、復旧時も継続的に最新情報をご案内します。

ただし、予期せぬ気象状況により事前通知ができない場合もあります。

PSPS アラートは、英語その他言語で、sce.com/pspsalerts から登録可能です。

緊急時の備えと支援

緊急時の備えや PSPS への対応に役立つ必要不可欠なサービスやリソースをご利用いただけます。



PSPS の備え

- 停電時にご家族の安全を守るために、あらかじめ緊急時に備えた計画を立てましょう。水、電池式ラジオ、懐中電灯、救急箱、毛布、予備電池などの非常用品の保管場所を確認しておくと安心です。
- PSPS への備えとして、[最新のチェックリスト](#) をご確認ください。
- [停電時マップ](#)をブックマークするか、MySCE モバイルアプリをダウンロードしましょう。



発電機とバッテリーのキャッシュバック

- 医療機器の使用が必要で、火災リスクの高い地域にお住まいの方には、SCE の[医療ベースライン支援プログラム](#)により、無償の予備バッテリーが提供されます。
- [SCE マーケットプレイス](#)では、ポータブル電源や発電機の購入が可能です。適用対象となる住宅用ポータブルパワーステーションには最高 150 ドル（最多 5 件まで）、さらに適用対象のポータブル発電機には最高 600 ドルまでのキャッシュバックが提供されます。



お客様サポートプログラム

- アクセスや機能的な支援を必要とするお客様向けのリソースやサポート、地域支援、緊急時の備えに関する情報は sce.com/afn でご確認いただけます。
- お客様ご自身やご家族の中で健康上の理由から電力が必要な場合は、[こちらのチェックリスト](#)をご覧になって PSPS 実施時に安全を確保なさってください。
- PSPS（公共安全のための計画停電）実施時には、影響を受ける地域に SCE のコミュニティ・リソース・センター (CRC) の設置やクルー・ビークル (CCV) の派遣が実施され、必要不可欠なカスタマーサービスを提供します。CRC および CCV の場所は、PSPS 実施中に[停電マップ](#)でご確認いただけます。（sce.com/outage に相当）。
- 長時間の停電が発生した場合には、ホテルの割引情報を sce.com/hotel-discounts でご覧いただけます。



停電時の安全対策

- 倒れた電柱や垂れ下がった電線には絶対に触れたり近づいたりしないでください。少なくとも 30 メートル（約 100 フィート）以上離れてください。安全が確認できたら、すぐに 911 に通報してください。
- 家電製品や電子機器は、損傷やデータ消失を防ぐためにコンセントから抜いておきましょう。ガソリンやガスを使用する発電機は、決して屋内で使用しないでください。
- また、発電機やバッテリーは、適切な安全装置なしに家庭の電気回路へ直接接続しないでください。どちらの行為も、使用者自身や修理作業員にとって非常に危険です。

山火事リスクの軽減に向けて

昨年だけで、約 800 回路マイルの裸電線を被覆導線へ交換しました。草木が飛来すると、発火の原因になりますが、被覆電線は、飛来した草木との接触を防ぎ、停電を約 70% 削減することで、電力サービスの信頼性を高めています。年末までには、火災リスクの高い地域にある配電線全体の約 90% を強化するという大きな節目を迎える予定です。

グリッドの強化



被覆導線
6,450+

2018 年以降設置した回線
距離 (マイル)

状況認識



気象ステーション
約 1,870 か所
山火事監視カメラ
200

2018 年以降設置

設備点検



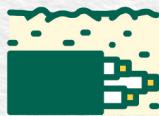
150 万件以上

火災リスクの高い地域において完了

2025 年 3 月末時点の
情報

より詳細な情報は
sce.com/mitigation
をご覧ください。

地中化目標



39

施工完了マイル
44%

の配電線が HFRA
内ですでに地下化

植生管理



250 万件以上

HFRA における刈り込みと除去

火災拡大防止のための対応



SCE 支援の緊急出動隊が 2024
年に対応した火災数

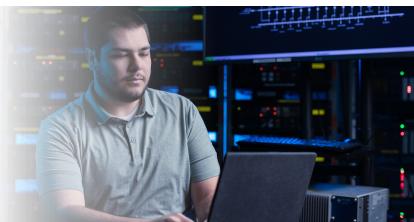
88

2024 年に SCE のサービスエリ
ア内で発生したすべての火災

継続的な山火事予防対策

2025 年も、以下のような山火事リスク軽減の取り組みを継続しています。

- 火災リスクの高い地域における被覆導線の設置、電線の地中化、新技術の導入これらの対策により、強風や嵐の際でも送電網の強靭性と信頼性が向上
- 樹木の剪定および草木の除去
- 火災リスクの高い地域での電気機器の詳細な点検
- 火災気象条件下での山火事を防ぐための、高速なグリッド保護設定の導入
- 緊急対応部隊 (Quick Reaction Force) として知られる空中消火プログラムに向けて、地元消防機関と連携。



テクノロジーによって進化する気象観測

当社の専門チームは、高度なテクノロジーを活用して気象状況を常時モニタリングしています。火災リスクの高い地域に 1,800 か所以上の気象観測所と 200 台の山火事監視カメラを設置し、リアルタイムの状況を把握しながら、気象モデルの精度を高めています。さらに、スーパーコンピュータを活用して、毎晩 1 億回以上の火災シミュレーションを実行し、重要な気象予測を提供しています。これらの情報は、電力設備が原因となる山火事を防ぐため、どの地域で、いつ送電を一時停止する可能性があるかを予測するのに役立っています。

計画停電 (PSPS)、
通知設定、緊急時の
備えについての詳細
は、SCE.COM/SPSPS
をご覧ください。